

平成30年度 文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
国際交流 NGO Viva おかざき!! 事業報告会

つながる日本語

ひろがる地域

ふみだす私

Viva おかざき!!は、地域とつながる日本語教育を考えるワークショップや、「防災」をキーワードに地域と外国人住民をつなげるための日本語教室を開催してきました。これまでの活動報告と、熊本地震についての基調講演やワークショップを通して、一緒に地域と日本語教育について考えてみませんか？

2019年3月3日(日) 13:30-16:30

会場：愛知県岡崎市能見通1丁目61 ウメムラビル1F ▼会場地図

キャンピング オフィス オト
Camping Office osoto



参加費：一般500円(会員無料)

対象：日本語教育、まちづくりに興味のある人 ※他分野からの参加も歓迎!

問合せ・申込み先：viva.okazaki@gmail.com(担当：長尾)

申込み方法：件名に「報告会申込み」、本文に氏名・所属・連絡先(電話・メール)・受講動機を記入の上、上記のメールアドレスまでお送りください。



主催：国際交流 NGO Viva おかざき!! 後援：岡崎市

PROGRAM

第1部

<事業報告> 13:30 ~ 14:00

当団体が実施したワークショップや日本語教室の内容と成果を報告します。

第2部

<基調講演> 14:00 ~ 15:20

「防災 × 日本語教育 × 地域」

災害時に日本語教室が果たせる役割や、平時のつながりの重要性について、熊本地震での体験から今後の活動のヒントを学びます。

【講師】

・村上百合香氏

(一般財団法人熊本市国際交流振興事業団)

・照喜名桂芬(邱桂芬)

(日本語教室 学習者リーダー、台湾出身)

第3部

<ワークショップ> 15:30 ~ 18:30

参加者のみなさんを含め、日本語教育が地域で果たせる役割を考えます。

追加プログラム決定!

Vivaおかざき!! 日本語教育事業報告会

つながる日本語・ひろがる地域 ふみだす私

現在、日本には約250万人の外国人が暮らしており、外国人と防災については地域の課題となっています。2016年の熊本地震では、外国人住民が地域の方と協力しながら避難生活をする方がいた一方、ことばや地域とのつながりなど課題も指摘されました。岡崎にも1万人の外国人が暮らしており、40人に1人が外国人という割合です。今後も外国人の増加が予想される中、外国人住民と平時からつながり、災害時にも助け合える関係づくりが重要です。Vivaおかざき!!では、災害時に支援者になる外国人の育成や、日本人住民と外国人住民と宿泊で避難所訓練などを実施しました。災害時も安心できる地域づくりについて一緒に考えませんか？



「防災 × 外国人 × 地域」 について一緒に考えませんか？

【日時】2019年 **3月3日** (日)

13:00～16:30

【参加費】500円(会員無料)・要申込み

【場所】Camping Office osoto

愛知県岡崎市能見通1丁目61 ウメムラビル1F



◆13:00～ ポスターセッション：外国人も含めた防災の取組み発表

【発表者】(一社)磐田国際交流協会(鈴木ゆみ氏)、岡崎市国際課(太田 義男氏)、岡山市総社市(譚 俊偉氏)
多文化防災ネットワーク愛知・名古屋(葛 冬梅氏)、多文化共生サポートAdagio(西尾)(高木祐子氏)
NPO法人フィリピンナガイサ(掲示のみ)

◆13:30～ Vivaおかざき!! 事業報告

◆14:00～ 基調講演：熊本地震の体験から、外国人を含めた防災と地域とのつながりの重要性

【講師】 村上百合香氏(一般社団法人熊本市国際交流振興事業団)
照喜名桂芬(邱桂芬)氏(日本語教室 学習者リーダー、台湾出身)

◆15:30～ ワークショップ

【申込み】①名前、②所属、③電話番号、④参加動機を viva.okazaki@gmail.comまでメールをお願いします。



主催：Vivaおかざき!!

後援：岡崎市

◆団体概要◆2010年に設立し、外国人住民向けセミナーや地域住民との交流イベントなど、地域の多文化共生を進める活動を開始。2017年には内閣府「子どもと家族・若者応援団」特命大臣表彰。2018年は、岡崎市と協働で外国人向け「宿泊避難所訓練」を実施。